
	練馬区農の学校事業特別企画 ~ ねりまの畑で伝統野菜を学ぶ		
	江戸東京野菜の栽培講座開催 事前のお知らせ		
と き	9月10日(土)~12月3日(土)の4日間	ところ	練馬区農の学校(高松1-35-2)
<p>10日、練馬区農の学校(高松1丁目)で、「江戸東京野菜の栽培講座」を開催する。これは、練馬区農の学校事業の特別企画として、かつて江戸やその近郊で栽培されていた江戸東京野菜の歴史を、種まきから収穫、食味を通して学ぶもので、区内農家等の協力のもと、開催するものである。</p> <p>講座では「練馬大根」をはじめ、「金町小かぶ」「亀戸大根」「馬込三寸人参」などの江戸東京野菜を学ぶ。</p> <p>なお、定員を超える応募があったため、募集は終了している。</p>			

細くて長い練馬大根も江戸東京野菜

【開催内容と日程(4日間)】

- 【1】実習 (区内農家が指導。種まきから収穫まで。管理作業の必要性を学ぶ)...
- 【2】座学 (江戸東京野菜の歴史と魅力)...のみ
- 【3】試食会 (食べ慣れた野菜との違いを体験)...のみ

9月10日(土) ...13:30~15:30 10月 8日(土) ...13:00~16:00
10月29日(土) ...13:30~15:30 12月 3日(土) ...13:30~16:00

【江戸東京野菜について】(出典:大竹 道茂(監修) 農文協『江戸東京野菜 図鑑篇』)

今回、講座で学ぶ予定の江戸東京野菜の産地、特徴は以下のとおりである。

練馬大根(練馬区)...長いものでは80cm~100cmほどとなる。中太りの形をしており、土から引き抜くときにかなりの力を要する。

金町小かぶ(葛飾区)...小ぶりで真っ白な根と青々とした葉が特徴的である。

亀戸大根(江東区)...通常の大根に比べ、小ぶりであり、かぶのように緻密でやわらかいとんがり型をしている。

馬込三寸人参(大田区)...10cm程度の長さで寸詰まりで型ばった形をしている。

後関晩生小松菜(江戸川区)...通常の小松菜に比べ、味にクセがない。また、葉の枚数が少なく、しっかり根が張っていることが特徴的である。

【講師について】

実習...渡戸秀行 氏(区内農業者、江戸東京野菜コンシェルジュ)

座学...大竹道茂 氏(江戸東京・伝統野菜研究会代表)

【今年度の練馬大根関連のイベント(予定)】

今後、練馬大根収穫体験、練馬大根の販売(11月) 練馬大根引っこ抜き競技大会(12月) 練馬大根のたくあん漬けの販売(来年2月)などのイベントを予定している。

【参考】練馬区農の学校事業について

農家の高齢化や後継者不足などに対応するため、農に関心を持つ区民の中から農家を支える人材を育てるとともに、人材が活躍する場を提供する拠点として、昨年3月に開校した。区内農業者が講師となり農家を支える人材を育成し、支え手を必要とする農家とのマッチングを行う。所定のコースを修了した受講生は「ねりま農サポーター」として認定され、農家の支え手として活動するほか、区内農業イベントを手伝う。

【問合せ】練馬区 都市農業課 農業振興係 ☎03-5984-1403